inter / 间 / 「間・あいだ」の意味があり、日中双方で「(～の)あいだ」「between」のニュアンスを直感しやすい / 画数(7画)はそこそこだが、日本語でも「間」と同形で理解しやすく、頻出字

* en / 中 / 「中(なか)」「inside」の意味で、日中双方に馴染みがある / 画数(4画)が少なく、他の単語(中国・中文など)でも広く使われる高頻度字
* konsist / 成 / 「～から成り立つ」「構成する」のイメージに近い。「形成」「组成」などにも含まれる / 画数(6画)は中程度で、日本語圏でも「成(なる)」「成功」などで馴染みがある
* de / 的 / 「～の」「～から」の多義に対応できる最頻出語。現代中国語では所有(～の)として非常に多用 / 画数(8画)はやや多めだが、中国語で最も頻出する機能字の一つ
* el / 出 / 「(～の中から)出る」「out of」の意味を端的に示せる / 画数(5画)で比較的シンプル。日中双方で初学者もイメージを掴みやすい
* ĝis / 至 / 「(～)まで」「～に至る」の意味。中国語でも「至今」「以至」など「到達・限界点」のニュアンス / 画数(6画)と比較的簡明。古風だが日中双方で「至る」の字として認知されやすい
* ĝis## / 至 / 同上(本来同義なので同じ字を再利用)。 / (同上)
* per / 以 / 「～によって」「～を用いて」という手段・介在のイメージが強い / 画数(5画)で「以来」「所以」「可以」などにも使われる常用字
* pri / 关于 / 「～について」「～に関して」を表す現代中国語の定番表現 / 2文字熟語だが、どちらも比較的高頻度字で再利用の可能性あり
* tra / 通 / 「通る」「通過する」「through」のイメージ。中国語の「通过」、日本語の「通過」などに共通 / 画数(10画)だが、「交通」「通用」など多様に使える汎用字
* k.t.p. / 等 / 「～など」「et cetera」の意味合い。中国語で「等等」とも書けるが、単字「等」でも「～など」を示せる / 画数(12画)はやや多めだが「等待」「相等」などでも使われる高頻度字
* kun / 同 / 「(～と)一緒に」「共に」のニュアンス。中国語では「同～一起」、日本語でも「同席」「同伴」など / 画数(6画)で比較的分かりやすい。「和」と区別して用いることで “and” との混同を避ける
* ankaŭ / 也 / 「(～も)また」「also, too」の意味に近い。中国語では「我也…」、日本語でも古文等で「也」は見られる / 画数(3画)とかなり少なく、非常に学習負担が低い
* kaj / 和 / 「そして」「and」を表す。現代中国語ではもっともポピュラーな接続詞の一つ / 画数(8画)だが、日本語でも「和(わ)」の字として認知度が高い
* potenc / 力 / 「(強い)力」「パワー」「勢力」のイメージ。物理的・抽象的な「力」を広くカバー / 画数(2画)で極めてシンプルかつ汎用度抜群
* aŭtoritat / 威 / 「権威」「威厳」「威信」のニュアンスに近い字。中国語では「权威」「威望」等で用いる / 画数(9画)だが、日本語圏でも「威圧」「威力」などで馴染みがある
* reg / 治 / 「(政治的に)治める」「統治する」の意味。中国語の「治理」、日本語の「治安/政治」などで対応 / 画数(8画)。日中双方で「治＝おさ(める)」と理解しやすい
* hegemoni / 霸权 / 中国語で「覇権(hegemony)」を最も的確に表す。 / 単字「霸」は画数が多めなので2文字熟語で提示。やや学習コストが高いが標準的表現
* regent / 摄政 / 中国語で「摂政(regent)」をそのまま表す標準語形 / 2文字(各11画・9画)で合計20画とやや多めだが、他に的確な短字表現が少ない
* prerogativ / 大权 / 「(元首の)大権」「最高権限」を示す。「大权在握」などと使われる語感 / 2文字(3画+6画=9画)なのでそこまで画数は多くない。簡潔に「最高権限」を連想させる
* administr / 管理 / 「(を)管理する」「to administer」の意。中国語でも「管理」が最も端的 / 2文字(14画+11画=25画)だが、「管理部」「管理人」など派生しやすい標準表現
* administraci / 管理部 / 「管理部門」「管理部署」の意。実際の組織名としても広く通じる / すでに出現の「管」「理」に「部(10画)」を足すだけなので、新出字は1文字で済む

### **1) direktor**

nginx

Copy

direktor / 主任 / 「主任」は組織や部署の“責任者・管理者”を指すため / 「主」(すでに他語根とも共有可)＋「任」(後述の任務などとも共有可)で学習コストを抑えられる

* 選定理由: 現代中国語で「主任」は「部門の長」「管理職」を表し、日本語でも「主任」として「管理者」のニュアンスが把握しやすい。
* 学習コスト: 「主」「任」は他の単語でも頻出し、後述の「任務(= 任务)」などとも部品が共通するため、学習負担を削減可能。

### 2) intendant

nginx

Copy

intendant / 管家 / 執事・家令など“家政の管理役”を直接表せる / 「管」(管理)＋「家」(家・家庭)は汎用性が高く、他語根でも転用可能

* 選定理由: 「管家」は中国語で「執事」「家政管理人」の意味。
* 学習コスト: 「管」「家」はどちらも画数はそこそこだが、いずれも頻度が高く意味も分かりやすい。

### 3) prezid

nginx

Copy

prezid / 主席 / “議長・会議の長”“(集会などを)主宰する人”を表す / 「主」(再利用)＋「席」(比較的よく見かける語彙)で意味が伝わりやすい

* 選定理由: 中国語の「主席」は「会議や組織のトップ(議長・会長・主席)」を表す。
* 学習コスト: 「主」は既出(主任・主人など)と共通。「席」は新出だが日本語でも“席”の漢字を認識しやすい。

### 4) mastr

nginx

Copy

mastr / 主人 / “家の主”や“所有者”“支配人”を直接表す / 既出の「主」＋新出の「人」で理解しやすい

* 選定理由: 「主人」は日本語・中国語ともに「家の主」「持ち主」を意味。
* 学習コスト: 「主」はすでに登場。「人」は最も基本的な漢字の一つで、学習負担が極小。

### 5) ĉef

Copy

ĉef / 首 / “主(な)・第一の・最高位”のニュアンスを単字で表す / 単独で「頭・先頭・要職」の意味があり画数も比較的少ない

* 選定理由: 中国語で「首」は「首位」「頭」を示し、“chief, principal”に対応。
* 学習コスト: 単文字で意味が明快。「首」は日本語でも「首都」「首相」などでなじみがある。

### 6) estr

nginx

Copy

estr / 长 / 組織などの“～長”を表す接尾辞に対応 / 「校长」「部长」など中国語の“～長”とまったく同じ働きをする

* 選定理由: 中国語の後ろにつけて「～长」とすれば「～長(トップ)」の意味になるため、エスペラントの -estr の働きと合致。
* 学習コスト: 「长」は「長(ながい)」の意味もあるが、“トップ”を表す接尾として中国語では頻出。

### 7) mastr/um##

bash

Copy

mastr/um## / 家务 / “家事を切り盛りする・家政を行う”という動詞的ニュアンスを表す / 「家」(既出)＋「务」(後述の任務などにも登場)で効率的

* 選定理由: 中国語で「家务」は家庭内の仕事(炊事洗濯など)を指す。mastr/um は「家政をする」意の派生。
* 学習コスト: 「家」は「管家」と重複。「务」は「任務(= 任务)」「職務(= 职务)」などでも使われる。

### 8) vart

nginx

Copy

vart / 养 / “保育する・育てる・世話をして成長させる”に近い / 単字で「养」は“養う、育てる”の意で用途が広い

* 選定理由: 中国語の「养」は“養う”“飼う”“育てる”など広範な育成・世話の意味をもつ。
* 学習コスト: 画数も多すぎず(8画)、日本語の「養」と同根で連想しやすい。

### 9) zorg

nginx

Copy

zorg / 关心 / “世話をする・気にかける・心配する”を総合的に表現 / 「関心」に近い意味で日本人にもイメージしやすい

* 選定理由: 「关心」は“配慮する”“心を砕く”“ケアする”を含意し、zorg の「世話・心配」の両面をカバー。
* 学習コスト: 「关」は“閉じる”の意味もあるが「关系」「关注」など頻出。「心」は基本的かつ画数少なめ。

### 10) fleg

nginx

Copy

fleg / 护理 / “看護する・看病する”に相当 / 医療・介護の文脈でよく使われる標準的表現

* 選定理由: 中国語「护理」は“看護・介護・世話をする”意。fleg はまさに看護行為を指す。
* 学習コスト: 「护」は保護・愛護・守護などにも使いまわし可能。「理」は「理由」「管理」などで頻繁登場。

### 11) kelner

nginx

Copy

kelner / 服务员 / “ウェイター・給仕人”として最も一般的な現代中国語 / 既出“服务”を含み用途広い

* 選定理由: 中国語で「服务员」は飲食店などの店員・給仕役(ウェイター)の意味が定着。
* 学習コスト: 「服务」は後述の serv と共通化。「员」は「人员」「队员」などでも出現しやすい。

### 12) serv

nginx

Copy

serv / 服务 / “仕える・奉仕する・サービスする”全般 / kelner(给仕)の「服务员」にも関連する

* 選定理由: 「服务」は“サービス”“奉仕”を表す最も基本的な現代語。
* 学習コスト: 「服」は着衣など複数意味をもつが非常に常用。「务」は他の単語(家务など)とも重複活用。

### 13) deĵor

Copy

deĵor / 值班 / “当直する・勤務に就く”の意を的確に表す / 中国語で“勤務中・当番中”を示す常用語

* 選定理由: 「值班」は「当番をする」「当直・番をする」の定番表現。
* 学習コスト: 「值」「班」はそれぞれ“価値”“クラス/シフト”を意味するが中国語学習では頻出語。

### 14) meti

nginx

Copy

meti / 手艺 / “(手仕事の)技術・技能”をよく表す / “クラフト技能”に相当し分かりやすい

* 選定理由: 「手艺」は“手工芸・手仕事の技術”を指す。日本語の「手芸」に近くイメージしやすい。
* 学習コスト: 「手」は基本字。「艺」は“芸術(艺术)”などにも用いられ、一定の転用が見込める。

### 15) profesi

nginx

Copy

profesi / 职业 / “職業”として最も代表的な現代中国語 / “プロフェッショナルな仕事”の意にも適合

* 選定理由: 「职业」は“職業・仕事”の意味で中国語の標準用語。
* 学習コスト: 「职」は公職・職能などに頻出、「业」は学業・实业など多方面で登場。

### 16) karier

nginx

Copy

karier / 事业 / “(身を立てる)キャリア・事業・人生の仕事”を広くカバー / 転職・昇進など含む“キャリア”的用法とも合う

* 選定理由: 「事业」は“事業”“キャリア”“生涯の取り組み”など幅広く使われる。
* 学習コスト: 「事」は非常に常用。「业」は上記「职业」と同じ字で再利用可。

### 17) rol

nginx

Copy

rol / 角色 / “劇や物語の役・役割”をそのまま表す / 中国語で“役柄”“キャラクター”を示す標準用語

* 選定理由: 「角色」は“キャラクター”“劇中の配役”を指し、rol と一致。
* 学習コスト: 「角」「色」はいずれも基本的な漢字で、日本語にも馴染みがある(角度・色彩など)。

### 18) servut

nginx

Copy

servut / 劳役 / 歴史的な“夫役・強制的労働・隷属的労役”に近い / 中国語では“劳役”が“強いられた労働”を示す

* 選定理由: 「劳役」は“苦役・強制労働”などの意味合いを持ち、「serfdom」「servitude」に相当。
* 学習コスト: 「劳」は「劳动」などでも再登場。「役」は日本語圏にも“役職”や“役割”のイメージがある。

### 19) posten

nginx

Copy

posten / 岗位 / “部署・持ち場・職務上のポジション”を示す / 中国語で“勤務先・配置場所”として常用

* 選定理由: 「岗位」は“職務のポジション”“持ち場”を指す代表的な語。
* 学習コスト: 「岗」「位」はともに常用字で「职位(職位)」などにも転用しやすい。

### 20) ofic

nginx

Copy

ofic / 职务 / “職務・オフィス(公職)・役職”を的確に表現 / “责任や担当業務”の意味合いが強い

* 選定理由: 「职务」は「(官公庁含む)職務・役職・任務上の責任範囲」を示す一般用語。
* 学習コスト: 「职」は「职业」「职位」などと共通、「务」は「家务」「任务」などでも共通。

### 21) task

nginx

Copy

task / 任务 / “任務・タスク”を最も直接的に表す現代中国語 / 「任」は主任などとも共通

* 選定理由: 「任务」は“仕事の割当・ノルマ”から“使命”まで幅広く使われ、task に合致。
* 学習コスト: 「任」は「主任」や「担任」など頻出、「务」は前述の家务・服务・职务などと共通。

### 22) labor

nginx

Copy

labor / 劳动 / “働く・労働する”を広くカバー / 「劳」はservut(劳役)とも関連し、“労”にフォーカス

* 選定理由: 「劳动」は“働くこと”全般を指し、中国語でも最も基本的な“労働”表現。
* 学習コスト: 「劳」は既出(劳役)で共通化でき、「动」は“動く”で頻度も高い。

okup / 占 /

* + 選定理由: 「占」は「占める」「占領する」の意味を直接持ち、日本語・中国語ともに「(場所や地位を)占める」という感覚を共有しやすい。エスペラントのokup(占める・忙しい・職業)のニュアンスとも近い。
  + 学習コスト: 画数が少なく、非常に基本的な漢字。既出・今後の転用にも期待できる。

1. dung / 雇 /
   * 選定理由: 「雇」は日本語の「雇(う)」、中国語の「雇佣」(gùyōng)に通じ、「雇用」「雇い入れる」の意味合いが明確。
   * 学習コスト: やや画数は多い(10画前後)が、雇用の概念を表すには分かりやすい文字。使い回し自体は限定されるが、日中双方に馴染みがある。
2. legitim / 证 /
   * 選定理由: 「legitim」は「身元証明」「合法化する」「正統性を証明する」などの意味を含むため、中国語で「证明(zhèngmíng)」「证件(zhèngjiàn)」などに通じる「证」が最適と判断。
   * 学習コスト: 4画程度と少なく、後述の“証明・確認系”で同じ「证」を使い回す方針により学習範囲を圧縮。
3. pruv / 证 /
   * 選定理由: 「pruvi」は「証明する」「証拠立てる」の意。中国語「证明」「证实」に通じるため、同じく「证」を再利用。
   * 学習コスト: 「legitim」と同じ字を用いることで学習負担を減らす。
4. atest / 证 /
   * 選定理由: 「atest」は「(証人として)証明する」「証言する」「証拠を示す」に対応し、中国語で「作证(zuòzhèng)」「证明」と近い概念。
   * 学習コスト: すでに「证」を使用しているため追加の負担なし。
5. konstat / 证 /
   * 選定理由: 「konstat」は「事実を確認する」「(確かめて)証明する」に近く、中国語「证实」「查明」「确认」のニュアンスにも合致。広義の“証明”枠として「证」を適用。
   * 学習コスト: 同じ「证」なので、新たな字形は増えない。
6. konfirm / 证 /
   * 選定理由: 「konfirm」は「確認する」「(事実を)確かめる」「認める」。中国語「确认(quèrèn)」「证实」などと近い概念のため、「证」を使い回す。
   * 学習コスト: 前出と同字。学習コスト削減に寄与。
7. sankci / 许 /
   * 選定理由: 「sankci」は「制裁(政治的)」「公的な承認」「許可を与える(official approval)」「制裁を科す」など幅広いが、ここでは「公的に許す・認可する」意味を重視し、中国語「许可(xǔkě)」「允许」の「许」を採用。
   * 学習コスト: 常用の簡体字(“讠”部偏旁ではなく“言+午”の略形)。許可系の意味で後述の“permes”“licenc”とも統一。
8. permes / 许 /
   * 選定理由: 「許可する」「認める」を意味し、中国語の「允许」「许可」に合致。
   * 学習コスト: すでに同じ「许」を使用するため新規学習不要。
9. licenc / 许 /

* 選定理由: 「license」「許可証」「特許」を指し、中国語の「许可证」「许可制度」に対応。「许」を再利用。
* 学習コスト: 同字を使うことで負担を低減。

1. definit / 决 /

* 選定理由: 「definit」は「最終的な」「決定的な」というニュアンス。中国語では「最终」「决定性的」に近く、「決める」の核心を表す「决」を採用。
* 学習コスト: 4画と少なく、後述のdecidなど“決定系”で活用。

1. decid / 决 /

* 選定理由: 「decidi」は「決定する」「決心する」意味で、中国語「决定(juédìng)」「决心(juéxīn)」など「决」の字がベース。
* 学習コスト: 「definit」で採用済みの「决」を継続使用。

1. determin / 定 /

* 選定理由: 「(範囲や条件を)定める」「確定する」など、“設定・確定”のニュアンスが強い。中国語「确定」「制定」などに通じる「定」が適切。
* 学習コスト: 8画程度。「决」との使い分けで若干増えるが、最小限の常用漢字の一つ。

1. diagnoz / 诊 /

* 選定理由: 「診断」を意味し、中国語では「诊断(zhěnduàn)」が直截。1文字であれば「诊」を用いるのが自然(「断」だけでは他意が多い)。
* 学習コスト: 医療系の専門ニュアンスだが、常用の簡体字であり比較的画数も少ない。

1. difin / 定 /

* 選定理由: 「定義する」「(境界を)はっきり定める」という意味。中国語「定义(dìngyì)」の“定”部分を流用して対応(本来“定义”2文字だが、学習文字数削減のため「定」で統一)。
* 学習コスト: 既に「determin」で使用済み。追加負担なし。

1. disting / 分 /

* 選定理由: 「区別する」「判別する」「見分ける」などの意味を持つ。中国語では「区分」「分辨」「分清」の“分”が核となる。
* 学習コスト: 4画と少なく、日中ともに基本的な漢字。

1. pek / 罪 /

* 選定理由: 「宗教・道徳的に罪を犯す」という意味。中国語でも「犯罪」「罪过」など“罪”を多用するため、単一字「罪」を割り当て。
* 学習コスト: やや画数は多め(13画前後)だが、以下の罪・犯罪関連語根をまとめることで種類数を抑制。

1. kulp / 罪 /

* 選定理由: 「罪(責任)がある」「過失がある」「有罪」といった感覚は、中国語で「罪责」「有罪」「过错」に近く、同じく「罪」を使い回せる。
* 学習コスト: 「pek」と同字を再利用し、追加負担を回避。

1. krim / 罪 /

* 選定理由: 「犯罪」「違法行為」を指し、中国語「犯罪」「罪行」と一致するため継続して「罪」を使用。
* 学習コスト: 新規追加なし。

1. pun / 罚 /

* 選定理由: 「罰する」「懲罰を与える」意味。中国語で「处罚(chǔfá)」「惩罚(chéngfá)」といった形で“罚”がコア。
* 学習コスト: 9画程度の常用字。罪(罪)とは別字だが、処罰のニュアンスを直接表せる。

1. kondamn / 罪 /

* 選定理由: 「罪に定める」「非難する」「有罪判決を下す」「(道徳的に)断罪する」など、広く“罪”に関連しうる。中国語でも「定罪」「谴责」などあるが、一括して「罪」へ。
* 学習コスト: 「pek」「krim」などと同じ字を使い回す。

1. kriminal / 罪 /

* 選定理由: 「刑事上の～」「犯罪の～」「犯罪者」を意味し、中国語でも「犯罪分子」「刑事犯罪」等の文脈で“罪”が繰り返し使われる。
* 学習コスト: 既出の「罪」を利用し統一。

ekzekut / 处决 / 「死刑を執行する」という意味に最も一般的な表現 / 「处」「决」はいずれも画数が比較的少なく、他の法関連語でも利用されがちな汎用漢字

1. akt / 幕 / [劇]幕を意味する単漢字 / 日本語の「幕」と同形で、視覚的・意味的に日中双方で認識しやすい
2. proces / 诉讼 / 訴訟を意味する標準的な法用語 / 「诉」は言偏を含み、「讼」は法的争いを示すため学習コストを抑えつつ法領域で汎用
3. procedur / 程序 / 手続・プロセスの意、法律手続にも一般手続にも使われる / 「程」は“段階・過程”を連想しやすく、「序」も広く使われるため汎用性が高い
4. konstituci / 宪法 / 憲法を意味する最も一般的な簡体字表現 / 「宪」は日本語の「憲」と通じ、かつ中国語でも頻出
5. leĝ / 法 / 法律を指す最も直接的な1文字 / 汎用性が非常に高く、他の熟語形成にも多用される
6. jur / 法 / 同じく「法」で対応 / 同一漢字を使い回すことで学習コスト削減（区別は上付き文字等で対応予定）
7. arbitraci / 仲裁 / 調停・仲裁を表す法律用語 / 「仲」(なかだち)、「裁」(さばく)はいずれも法関連で再利用されやすい
8. juĝ / 审判 / 裁判する・審判するの意 / 「审」(審理)、「判」(判断)はいずれも画数そこそこながら法分野で汎用
9. verdikt / 判决 / 判決を下す、あるいは判決そのものの意 / 「判」「决」はともに比較的画数が少なく、他語にも活用しやすい
10. tribunal / 法院 / 裁判所を指す一般的名称 / 「院」は「病院」「学院」などでも使うため学習コストに貢献
11. instanc / 审级 / 審級(上級審・下級審)を示す術語的表現 / 「审」と「级」はどちらも基本的な部首・形を含み、他領域でも応用可能
12. rit / 仪式 / 宗教的儀式を含む広い「儀式」の意 / 「仪」「式」はいずれも比較的シンプルで、礼儀・正式など他熟語に転用しやすい
13. ceremoni / 仪式 / 上記と同じ「仪式」を再利用 / 同義語でまとめることで学習コストを削減
14. oficial / 官方 / 公式の・公的な意味に相当 / 「官」「方」は日中ともに非常に基本度が高い文字
15. formal / 正式 / フォーマル(形式的・正式な)の意 / 「正」「式」はどちらも他語根(例: 仪式)と関連し学習しやすい
16. regul / 规则 / 規則を示す一般的な2文字熟語 / 「规」「则」はどちらも法や基準を表す熟語(法规・准则 等)に広く用いられる
17. disciplin / 纪律 / 規律・秩序・綱紀を表す常用語 / 学校や軍などでも使われ、日中ともに意味をつかみやすい
18. norm / 准则 / 規範・基準を表す / 「准」は“許可・基準”のニュアンス、「则」は「规则」「原则」などと同根で汎用性高
19. kriteri / 标准 / 基準・判定基準を意味する最も一般的な言い方 / 「标」「准」は単語形成が多く「标准」「标志」「准考证」など多用
20. tip / 典型 / 典型・代表例を表す熟語 / 「典」「型」ともに日本語読みと対応しやすく意味連想しやすい
21. ordinar / 普通 / 普通・一般的・凡庸な意 / 日中とも頻出語で「普通列车(普通電車)」「普通形(ふつう形)」など例多数

normal / 常 /  
理由: 「常」は「いつも」「ふつう」「平常」など「通常状態」を連想しやすい。  
学習コスト: 画数はやや多い(11画)が、日本語・中国語ともに「常用」かつ「ふつう」「ノーマル」のイメージが掴みやすい。

1. ortodoks / 正统 /  
   理由: 中国語の「正统(zhèngtǒng)」は「正統」の意。日本語でも「正統」「正統派」として意味を連想しやすい。  
   学習コスト: 「正(5画)」と「统(9画)」の2文字。今後「正」は他にも「正確」「正常」などに応用可能。「统」は後述の「传统(tradici)」でも再利用。
2. tradici / 传统 /  
   理由: 「传统(chuántǒng)」は「伝統」を意味する標準的な中国語表現。  
   学習コスト: 「传(6画)」「统(9画)」。すでに「统」は上記ortodoks(正统)で登場済み。
3. mor / 习俗 /  
   理由: 「习俗(xísú)」は「習俗・風俗・慣習」の意。日本語の「風俗」「習俗」と類似しており意味を想起しやすい。  
   学習コスト: 「习(3画)」「俗(9画)」。後述の「习惯(kutim)」でも「习」を再利用。
4. kutim / 习惯 /  
   理由: 「习惯(xíguàn)」は「習慣」を意味する非常に一般的な単語。  
   学習コスト: 「习」は上記mor(习俗)と共通、「惯(11画)」をここで新出。のちに「惯例(rutin)」にも転用。
5. rutin / 惯例 /  
   理由: 「惯例(guànlì)」は「慣例・慣行・ルーティン」の意。  
   学習コスト: すでに「惯」はkutim(习惯)で使用、「例(8画)」のみ新出。このように字形・用法が類似した熟語を組み合わせることで学習コストを削減。
6. kiel / 如 /  
   理由: 「如(rú)」は「もし～ならば」「～のようだ」「如何」等に用いられ、“状態・様子・方法”を連想しやすい。  
   学習コスト: 画数(6画)はそこそこだが、日本語でも「如し(ごとし)」の古語表現などがあり連想が可能。
7. kiel## / 如 /  
   理由: #付きで「語根ではない」注記があるが、同じく「如」を転用し、必要に応じて上付き番号等で区別可能。  
   学習コスト: 新たな漢字は増えない。
8. iel / 如 /  
   理由: 「なんとかして（どうにかして）」という曖昧な方法を1文字で表すのは難しく、同じ「如」で代用。  
   学習コスト: 重複使用で字数を増やさずに済む。
9. tiel / 如 /  
   理由: 「そのように」「あのように」も、単独1文字では表現しづらい。まとめて「如」で処理する方針。  
   学習コスト: 同上。
10. tiel ĉi## / 如 /  
    理由: 「このように」の意だが、やはり同じ「如」を転用して区別を図る。  
    学習コスト: 同上。
11. recept / 方 /  
    理由: 「レシピ」「処方箋(药方)」「配方(レシピ・作り方)」など、中国語では「方」を用いる語が多い。  
    学習コスト: 画数(4画)が少なく便利。「方法」「方針」「方位」など様々な関連語があるため再利用性が高い。
12. manier / 法 /  
    理由: 「方法」「やり方」を意味する代表的な字が「法」。日本語の「方法」、中国語の「办法」「方法」などで馴染み深い。  
    学習コスト: 8画だが常用漢字であり、「metod」等でも再利用しやすい。
13. metod / 法 /  
    理由: 上記manier(法)と同義に近く、同じく「法」で十分対応可能。  
    学習コスト: 同一漢字を転用することで学習負担を軽減。
14. direkt / 方 /  
    理由: 中国語で「方向」「方位」は「方」を含む表現が多い。1文字「方」でも「方位・方向」の連想ができる。  
    学習コスト: receptで用いた「方」と同一文字を再利用し、重複を回避。
15. konduk / 导 /  
    理由: 簡体字「导(dǎo)」は「導く」「ガイドする」「引率する」の意で、まさに“lead, guide”に対応。  
    学習コスト: 6画で比較的簡単。「领导」「导游」「引导」「指导」など応用範囲が広い。
16. gvid / 导 /  
    理由: kondukとほぼ同義で「案内・導く」意味。ここでも「导」を転用可能。  
    学習コスト: 同上。
17. preskrib / 方 /  
    理由: 医学的処方(药方)にも「方」が使われる。「开方(処方を書く)」などの表現に通じる。  
    学習コスト: recept/direkt等と同じ「方」を再利用。
18. komand / 令 /  
    理由: 「命令」「指令」「司令」など“命令を下す・軍を指揮する”際によく登場する部首・漢字として「令」を採用。  
    学習コスト: 画数(5画)と少なく、後述のordonなどでも転用可能。
19. ordon / 令 /  
    理由: 「(を)命令する」は「令」と同根。「命令(mìnglìng)」「法令」など共通するイメージ。  
    学習コスト: komandとの重複使用。
20. instrukci / 指 /  
    理由: 「指令」「指示」などで「指」を用いる。英語の“instruct”に近いニュアンスを想起しやすい。  
    学習コスト: 9画とやや多めだが、「指導」「指导(zhǐdǎo)」とも関係し、再利用の余地あり。
21. kre / 创 /  
    理由: 「创造(chuàngzào)」「创作(chuàngzuò)」の「創」の簡体字。「(を)創造する」に適合。  
    学習コスト: 6画で比較的シンプル。日本語の「創作」「創造」とも結びつけて覚えやすい。

konstru / 建 / 「建」は中国語でも日本語でも「建設・建造」の意を連想しやすい / 筆画8画で比較的シンプル。今後「建◯」などの熟語にも転用可能

1. fond / 建立 / 「創立・設立」に相当する常用表現で、中国語・日本語ともに意味を把握しやすい / 「建」は(1)と同一、そこに「立(5画)」を加えるのみなので学習負担増を抑えられる
2. establ / 设立 / 「設立」の意を持つ常用表現。中国語で「设立」は創立・設立に相当 / 「立」は(2)で既出。「设(6画)」は日本語で「設」に相当し意味が推測しやすい
3. struktur / 结构 / 「構造」の意を表す中国語の常用単語 / 「结(9画)」「构(6画)」はいずれも比較的使用頻度が高く、日本語話者も「結構」「構造」等で見覚えがある
4. aranĝ / 安排 / 「手配・段取り・アレンジ」の意で、中国語では非常に一般的 / 「安(6画)」「排(11画)」。多少画数はあるが日本語話者にも「安全」「排出」などでおおよその意味を連想しやすい
5. organiz / 组织 / 「組織」の中国語常用単語 / 「组(7画)」「织(7画)」。日本語の「組織」と同系統で、漢字圏学習者には分かりやすい
6. rekompenc / 报酬 / 「報酬」の意味をもつ常用熟語 / 「报(7画)」「酬(13画)」。日本語の「報酬」とほぼ同形(旧字体: 報酬)で、意味が直感しやすい
7. honorari / 酬金 / 「謝礼金・報酬金」を表す熟語 / (7)で使用した「酬」に「金(8画)」を組み合わせることで、追加の概念(“お金”のニュアンス)を明確化
8. pag / 付 / 中国語で「支払う」の動詞(例: 付钱)によく使われる / 簡体字1文字で画数5画と少なく、「付与」などの用法もあり応用面でのメリットがある
9. salajr / 工资 / 「給料・賃金」を指す代表的な中国語表現 / 「工(3画)」「资(7画)」。どちらも高頻度漢字で、日本語話者も「工事」「資金」などで馴染みがある
10. kotiz / 会费 / 「会費・会の費用」などの意 / 「会(6画)」「费(9画)」。いずれも中国語で頻出。「会費」は日本語でも同義語
11. rent / 租金 / 「賃貸料」を意味する常用表現 / 「租(7画)」「金(8画)」。比較的わかりやすく、日本語でも「賃租(ちんそ)」「賃金」と関連づけて想像可能
12. donac / 礼物 / 「贈り物、ギフト」の意 / 「礼(5画)」「物(8画)」。日本語話者にとっても「礼儀」「物品」などの連想により意味を推測しやすい
13. premi / 奖品 / 「賞品・景品」の意 / 「奖(9画)」「品(9画)」。日本語「奨学金」「食品」と同源であり、両言語で意味を取りやすい
14. almoz / 施舍 / 「施し・恵み」を表す一般的な熟語 / 「施(9画)」「舍(8画)」。やや画数はあるが他の施行・宿舍などの語にも登場し頻度はそこそこ
15. dot / 嫁妆 / 「嫁入り道具・持参金(ダウリー)」に相当 / 「嫁(8画)」「妆(6画)」。日本語では「嫁」「化粧(粧)」とやや表記が変わるが、結婚関連の連想が可能
16. kontribuci / 赔款 / 「(戦時)賠償金」を示す際によく使われる / 「赔(8画)」「款(12画)」。日本語「賠償」と同系統。戦争賠償金などで使用
17. stipendi / 奖学金 / 「奨学金」を意味する常用表現 / 「奖(9画)」「学(8画)」「金(8画)」。日本語の「奨学金」と同形に近く、意味が明瞭
18. subvenci / 补贴 / 「補助金・助成金・補貼」を指す中国語 / 「补(7画)」「贴(8画)」。いずれも中国語で高頻度のため汎用性が高い
19. ukaz / 诏令 / 皇帝や皇族が出す「勅令・詔令」の意に近い / 「诏(7画)」「令(5画)」。ロシア皇帝(ツァーリ)の勅令は中国語で明確な1字はなく、この熟語で近いニュアンスを表現
20. imperativ / 命令 / 文法上の「命令法」「命令形」に対応 / 「命(8画)」「令(5画)」。両言語とも「命令」は同系統の表記・意味でわかりやすい
21. testament / 遗嘱 / 「遺言・遺書」に当たる法律用語 / 「遗(7画)」「嘱(15画)」。やや画数は多いが、正式な「遺言」を表すのに適した定訳
22. edikt / 令 /  
    　「令」は「命令」「法令」などを連想させる字で、勅令・布告などの意味とも比較的近いため。 /  
    　画数少なく汎用性も高い字。すでに「命令」「政令」など他の語にも応用しやすい。
23. dekret / 令 /  
    　同じく政令・布告などの「令」のイメージが近い。「政令」中にも「令」が含まれる。 /  
    　ediktと同じ字を再利用し、学習負担を減らす。
24. pretekst / 借口 /  
    　「借口」は中国語で「言い訳・口実」を意味する常用表現。 /  
    　「借」「口」ともに比較的初級で再利用しやすい(「借用」「人口」など)。
25. argument / 论证 /  
    　「argument」の「論証・主張」のニュアンスを、簡体字の「论证」（論証）でまとめて表現。 /  
    　「论」「证」はどちらも学習頻度が高く、後述の“demonstraci”とも共有可能。
26. demonstraci / 论证 /  
    　「demonstration, proof」の意味を「论证」にまとめる。論証・証明のニュアンス。 /  
    　argumentと同一の熟語を使い回し、学習コスト(新規漢字の種類)を低減。
27. pretend / 主张 /  
    　「pretend」(エスペラントで「権利を主張する」「声称する」など)を、中国語では「主张」でも「自称」でも近い。ここでは「主张」を採用。 /  
    　「主」「张」は再利用の幅が広い(「主要」「张开」など)。画数も比較的少なめ。
28. pled / 辩护 /  
    　法的な「弁護する」の意味。中国語での常用表現「辩护」を用いる。 /  
    　「辩」は“議論・弁明”関連で今後も使える可能性がある。「护」は「保护」等でも出現しやすい。
29. apelaci / 上诉 /  
    　法的に「上訴する」を意味する標準的な表現が「上诉」。 /  
    　「上」「诉」ともに使用頻度の高い字。「告诉」「起诉」など関連派生語も多く、再利用しやすい。
30. admon / 告诫 /  
    　「(強く)言い聞かせる・戒める」に相当し、中国語で「告诫」は「警告・戒め」の意味で一般的。 /  
    　「告」は他の「告发」「控告」などでも使う可能性大。「诫」はやや専門的だが「戒」系統として応用あり。
31. konvink / 说服 /  
    　「説得する」に最も一般的な簡体字表現「说服」。 /  
    　「说」は“話す”関連で出現頻度が高い。「服」は後述の「服从」などでも再利用できる。
32. asert / 主张 /  
    　「断言する・主張する」の意味で、「pretend」と同様に「主张」へ統合。 /  
    　同一表現にまとめることで、学習時の漢字種類を削減。
33. konfes / 承认 /  
    　「告白する・認める・自白する」を表し、中国語で「承认」は「認める・承認する」に広く使う。 /  
    　「承」は「承诺」などと共通化しやすく、「认」は頻出字（“认识”“认出”など）。
34. akuz / 控告 /  
    　「(罪などを)告発する」にあたる標準的な表現。 /  
    　「控」は法的文脈(控诉、投诉など)にも使い回し可能。「告」はすでに他でも利用。
35. denunc / 告发 /  
    　「告発する」「告発・密告する」の意。中国語では「告发」が一般的。 /  
    　「告」は再利用。「发」は「发誓」「发展」などにも使えて便利。
36. akompan / 同行 /  
    　「一緒に行く・同行する」に相当。「同行」は簡潔で分かりやすい。 /  
    　「同」は極めて基本的な漢字、「行」も多用されるため学習コストは低い。
37. obe / 服从 /  
    　「服従する」に対応する最も直接的な語。「服从」は中国語で“従う”の基本表現。 /  
    　「服」は先に出た「说服」と共通。「从」も「从来」「追随」などに派生しやすい。
38. observ / 观察 /  
    　「観察する」を意味する定番の簡体字表現。 /  
    　「观」は“見る・観る”関連で汎用性が高い。「察」も“観察/視察/考察”など幅広く使える。
39. dev/ont/ig## / 未対応 /  
    　リスト上「語根ではない」旨の注記があるため、現時点では割当を行わない。 /  
    　必要に応じて後日検討可能。
40. promes / 承诺 /  
    　「約束する」の意味に対応。中国語で「承诺」は“約束・引き受ける”のニュアンス。 /  
    　「承」は既出(承认)で再利用、「诺」は「诺言(=約束)」などでも出る比較的分かりやすい字。
41. ĵur / 发誓 /  
    　「誓う・誓約する」を意味し、中国語では「发誓」が一般的。 /  
    　「发」は既出(告发)で再利用。「誓」はやや画数多めだが“誓约/誓言”など関連語あり。
42. destin / 预定 /  
    　「(用途を)予定する・あらかじめ定める」に相当。「预定」は“予約・予定”の広い意味を持つ。 /  
    　「预」は“予測/预备”などでも使われ、学習価値が高い。「定」も要所で再利用可能。
43. komisi / 委托 /  
    　「委託する・任せる」に対応する標準的な表現。 /  
    　「委」「托」は単独でも一定の使用頻度(“委员会”“托付”など)があり、汎用性はまずまず。

asign / 分 / 「割り当てる」「分配する」のイメージが近く、画数が少ない / 今後「分」を「わりあて」や「わける」系の語根に転用可能

* atribu / 分 / 「(属性を)付与する」「割り当てる」の一種とみなし、同じく「分」を再利用 / 同上。やや意味の幅は異なるが、学習コストを下げるため再利用を優先
* don / 给 / 中国語で「与える」を最も直接的に表す字であり、日中ともに意味を推測しやすい / 「与える」系は今後も出る可能性が高いため、頻用字として学習価値大
* ofert / 供 / 「提供する」「供給する」に対応しやすい単字 / 次の “liver” と同じ字を再利用し、漢字総数を抑制
* liver / 供 / 「供給する」に直結。前項 “ofert” との意味親和性が高く、同字再利用 / 「提」「供」の熟語(提供)も想定できるが、一文字なら学習量が少ない
* el/don## (出版する) / 刊 / 「出版」(刊行)を直接連想させる単字 / 「出」だけだと多義過ぎるため「刊」を採用。画数5で比較的シンプル
* deleg / 派 / 「派遣する」「代表を送る」のニュアンスを中国語で明確に示す / 「派遣」(派+遣)のイメージが日中双方で理解しやすい
* send / 发 / 中国語「发送」(発送)に対応するニュアンス / 「送」もあり得るが、「发」のほうが画数が少なく転用範囲が広い
* eksped / 发 / 「発送する」「出荷する」の意味。前項 “send” とほぼ同義なので同じ字で集約 / 「发货」「发送」を想起でき、学習コストを削減
* mandat / 汇 / 中国語「汇票」(為替)などに通じる重要要素 / 金銭の送付・為替で使われる字。5画で比較的シンプル
* spez / 收支 / 「出納する」「金の出入り」を示すため2文字熟語に / 単字で正確さを出すのが難しく、標準的で分かりやすい熟語を選択
* ĝir / 转 / 「振り替える」「(口座間を)移す」のイメージで、中国語「转账」の“转”を抽出 / 画数8、かつ「回転」や「転送」など他の動きにも使える汎用字
* kvitanc / 收据 / 中国語で「領収書」を表す最も一般的な熟語 / 1文字では伝わりづらいため、標準的2文字を採用
* mend / 订 / 「注文する」「(商)オーダーする」。中国語「订货」等と同系 / 5画と少なく、次の “abon” とも兼用可能
* abon / 订 / 「予約(購読)する」「事前に申し込む」。実際は「订阅」だが“订”を再利用 / 意味の細かな違いは上付き文字等で区別予定
* opi / 鸦片 / 中国語で「アヘン」。標準的表記 / 1文字だけでは表現できず、2文字が一般的
* aniz / 茴香 / 「アニス」「アニスシード」を中国語で表す代表的な呼称 / 「八角」とは微妙に違うため「茴香」を優先
* anilin / 苯胺 / 化学物質「アニリン」の中国語定訳 / 化学用語のため妥当な2文字をそのまま採用
* anten / 天线 / 「アンテナ」を示す中国語の常用表現 / それぞれ画数4+6で比較的シンプル
* ann / 安娜 / 女性名「アンナ」等を中国語で書く際の代表的表記 / 人名表記として「安」を使うことは非常に一般的
* anton / 安东 / 男性名「アントン」等を中国語で書く際の表記 / 上と同様、「安+○」で外来人名の音写をする慣習
* amik / 友 / 「友達」を示す最もシンプルな字 / 中国語では「朋友」が標準だが、1文字で学習コストを抑制

kamarad/同/「同志」「同伴」などの語に通じ、仲間・友人・同志のニュアンスをまとめて表せるため。日本語の「同○」にも通じ、意味の連想がしやすい。/画数は6画と比較的少なめで、今後同僚(koleg)などにも転用できるため学習コストを抑えられる。

koleg/同/「同僚」「同事」などの語に通じ、同じ職場や立場の仲間を表せるため。/kamaradと同じ「同」を使うことで、新たな漢字を増やさず学習コストを削減できる。

gast/客/「客人」「顾客」などの語から直感的に“客”を想起できるため。日中ともに“客”は馴染みが深い。/同じ字でklient（顧客）にも転用することで、漢字の種類を増やさずに済み学習負担を減らせる。

klient/客/「客户」「顾客」などの語と対応でき、客としてのイメージを共有しやすいため。/gastと同じ「客」を使い回せるため、重複使用による学習コスト低減が望める。

lake/仆/「仆人」（しもべ、僕役）の意味合いがあり、中国語でも“仆人”の形で用いられる。/簡体字で4～5画程度と画数が比較的少なく、重複利用にもつなげやすい。

adept/徒/「信徒」「门徒」などの語に含まれ、信奉者・支持者・修行者など“ついて行く人”のニュアンスを表せる。/disĉiplとも共有可能な字であり、新たな字を増やさずに済む。

disĉipl/徒/「弟子」「门徒」などで用いられる“徒”を採用。弟子・弟子入りのイメージと合致。/adeptと同じ文字を使うことで、学習範囲を最小限にできる。

viv/生/「生活」「生命」「生きる」などの意味を包含しており、日中いずれでも“生”は非常に基本的かつ直感的。/画数も5画と少なく、多用される概念字なので覚えやすく、汎用性が高い。

loĝ/住/「居住」「住む」のイメージが直感的に伝わる字。/日中で共通しやすく、7画とそこまで多くないため学習負担も比較的軽い。

vilaĝ/村/「村落」「农村」などの語に含まれ、村を直接表す代表的な漢字。/日本語でも「村」は馴染みがあり、中国語圏でも同義で用いられるため学習しやすい。

dom/家/家屋・住宅を指す最も代表的な字の一つ。/後述のhejmo・familiとも同じ「家」を割り当てることで文字数の増加を抑えられる。

hejmo/家/「家庭」「家」という概念に直結。/dom・familiと統一して「家」を流用し、学習コストを低く保つ。

famili/家/「家庭」「家族」という意味を広くカバーできる。/dom・hejmoと同じく「家」を割り当て、一つの漢字で複数の語根を対応させる。

ia/某/「ある種の」「某種」というニュアンスを表すのに適し、日本語・中国語双方で“ある○○”の感じを連想しやすい。/同じ字をiu, iesなどにも使い回せるため、学習範囲を縮減できる。

iu##/某/「ある～」「誰か」を示す不定のイメージに合致。/iaと同じ「某」を使うことで、文字数を増やさずにすむ。

ies/某/「誰かの(所有)」を示す不定代名詞的な意味にも「某」が転用可能。/同じ字を再利用し、学習コストを削減。

iu/某/「ある人」「誰か」を指す不定代名詞。/すでに採用している「某」でカバー可能なため、追加学習コストを抑えられる。

tiu ĉi##/这/「この(ひと・もの)」という“近称”を表す代表的漢字。/シンプルで5画、学習頻度も高く、意味を取りやすい。

ties/那/「あの人(たち)の」「その人(たち)の」という“遠称”所有を表す。/tiu系統との共通字として「那」を使い回すことで、新規漢字を増やさずにすむ。

tiu##/那/「あの～」「その～」という“遠称”を示す。/tiu, tiesと同じ「那」を流用することで文字数を削減。

tiu/那/「あのひと(もの)」「そのひと(もの)」を表す直接的な遠称代名詞。/既にtiu##やtiesで用いている「那」を再利用でき、学習の重複を避けられる。

ci/你/親しい(もしくは古風な)「お前」「汝」に相当する二人称単数を表す。/最も基本的な二人称単数の簡体字であり、日中共に認知度が高い。

vi / 你 /  
「あなた」を最も直接的かつ一般的に表す簡体字。「您」より筆画が少なく、日本人にも「你」は中国語で「あなた」を意味すると比較的認知されやすい。  
/ 亻(にんべん)を利用した人称代名詞の一種であり、今後「他」「她」と同じ偏旁を共有できるため、新しい部首の追加を抑えられる。

1. ŝi / 她 /  
   女性を指す標準的な簡体字。日本語話者にも「彼女」を示す中国語として比較的知られている。  
   / こちらも亻偏ではなく女偏を使うが、中国語で女性三人称を示す字として定着しており、「女」偏自体も「妊」「姻」など他の語で再利用可能。
2. li / 他 /  
   男性を指す標準的な簡体字。日本語でも「彼」を表す中国語として比較的知られている。  
   / 亻偏であり、すでに「你」と同じ部首を共有するので学習コスト増は最小限。
3. ni / 我们 /  
   「私たち」を表す最も一般的な簡体字表現。「我们」は現代中国語で広く用いられる。  
   / 「我」は単独で「私」を表す際にも登場し(後述のmi)、そこに「们」という複数を示す字を加えるだけなので比較的意味を推測しやすい。部首としては「门」(もんがまえ)が増えるが、頻度も高く学習価値はある。
4. ego / 自我 /  
   「自我」をそのまま直裁に表す代表的な二字熟語。日本語でも「自我」は同形語として通じる。  
   / 「自」「我」はいずれも非常に基本的な字であり、それぞれ他の語にも転用しやすい。
5. mi / 我 /  
   「私」を示す最も基本的な単字。中国語圏で“私”を表す代表的文字であり、日本人にも「我」は「われ」「わが」等の熟語で馴染みがある。  
   / すでに(4)の「我们」でも「我」を使用しており、一貫して「我」で統一できるため学習コストを削減。
6. unu / 一 /  
   「一」を意味する最も基本的かつ簡単な文字。  
   / 画数最少クラスであり、日本語圏・中国語圏ともに即座に意味を把握できる。
7. da / 的 /  
   現代中国語における「〜の」に相当する文法的に最も頻出する文字。「之」よりも使用頻度が高く日常的。  
   / 非常に使用頻度が高いため、学習・定着がしやすい。
8. graved / 孕 /  
   「妊娠した」「孕む」という概念を示す簡体字。日本語の「妊」「妊娠」に相当するが、中国語では「怀孕」の略などにも含まれる字として認知度が高い。  
   / 女偏ではなく「子」を含む構造(上が乃+下が子)で、今後「子」を使う語群との関連も持たせやすい。
9. embri / 胚 /  
   「胚」「胚胎」の「胚」を単独で採用。エンブリオ(embryo)のイメージに直結しやすい。  
   / 肉月(⺼)偏を含むが、生命・身体関連で他の単語に発展応用がききやすい。
10. infan / 子 /  
    「子供」を最も単純化した形で表す字。単独だと「子(こ)」の汎用的な意味だが、中国語圏でも「小孩」の「子」のイメージと重なる。  
    / 画数3画と少なく、既出の「孕」にも含まれる「子」と同じ要素のため、認知しやすい。
11. beb / 婴 /  
    中国語で「婴儿(赤ん坊)」を示すときに用いられる字。「婴児」「嬰児」の簡体形で、乳児を直接イメージしやすい。  
    / 女偏を再利用しており、(2)や(9)、(19)など他の女偏使用字とセットで覚えやすい。
12. fraj / 卵 /  
    「(魚などの)卵塊」「(産卵する)卵」を示す字。既に(14)「ov」でも使うが、区別は上付きなどで対応予定。  
    / 同じ「卵」を使い回すことで学習負担を減らし、必要に応じて文脈や補助記号で区別。
13. ov / 卵 /  
    一般的な「卵」を表す字。日中双方で「卵」の意味として成立しやすい。  
    / (13) と同じ字をあえて共有することで、新しい漢字の追加を回避。
14. sem / 种 /  
    「種子」を意味する簡体字。「种子」の略にも用いるが、単独でも「seed」の感覚として把握されやすい。  
    / 日本語の「種(たね)」の簡体形で、意味推測がしやすい。禾偏や米偏などよりも総画数が比較的少なく、汎用性が高い。
15. ĝerm / 芽 /  
    「芽」「萌芽」「発芽する」を最も直接的に示す字。日本語でも「芽」の字で「め」を意味する。  
    / 艹(くさかんむり)を使用し、(17)とも共通化が可能。
16. burĝon / 芽 /  
    「芽」「蕾」「新芽」の意。「ĝerm」とほぼ重なる意味だが、区別は後で上付き文字などで行う。  
    / (16) と同じ字を再利用し、新たな漢字を増やさずに済む。
17. parenc / 亲戚 /  
    「親族」「親戚」を表す日常的な二字熟語。日本語「親戚」ともほぼ同形で意味が通じやすい。  
    / どちらも頻出字であり、「亲」は「立刀」などと組み合わせが多く、「戚」も他表現で見かける機会がある程度には一般的。
18. bo / 姻 /  
    「姻戚」「婚姻」など「結婚によって結ばれた関係」を指す際の中核となる字。  
    / 女偏を再利用し、「她」「婴」と同系統のため、偏旁学習がある程度まとまりやすい。
19. hered / 继承 /  
    「相続する」「受け継ぐ」を最も代表的に示す二字熟語。日本語「継承」と同根で意味推測しやすい。  
    / 「继」「承」も中国語学習の初中級レベルで頻出のため、汎用性は高い。
20. id / 子孙 /  
    「子孫」「後裔」を示す二字熟語。単に「子」だけでは曖昧だが、「子孙」なら「子どもや孫＝子孫」のイメージが直感しやすい。  
    / 「子」は既出で追加の新字は「孙」のみ。日本語「子孫」とほぼ同形であり、意味を推測しやすい。
21. primitiv / 原始 /  
    「原始的」「プリミティブ」を示す二字熟語。日本語「原始」と同形で直感的に理解できる。  
    / 「原」「始」はどちらも汎用性が高く、多方面で使用機会があるため学習効率は高い。

pra

* + 提案: 古
  + 理由: 「古」は「古代」「古老」などで「古い」「原初的」というニュアンスを持ち、エスペラントの接頭辞「pra-」(原始・太古・祖先的)を端的に表しやすい。
  + 学習コスト: 画数5画と比較的少なく、日本語・中国語いずれの話者も「古」の意味を把握しやすい。

1. origin
   * 提案: 元
   * 理由: 「元」は「元祖」「元旦」などで「初め」「根本」「起源」の意を示す。画数が少なく、「origin」の意味合いとも合致。
   * 学習コスト: 既存漢字との重複はなく新規だが、4画と少ないため学習負担は低め。
2. original
   * 提案: 原
   * 理由: 「原作」「原文」など「オリジナル」を示す場合に用いる漢字。日本語・中国語双方で「原～」の形が多用され、意味が取りやすい。
   * 学習コスト: 10画とやや多めだが、非常に頻出であり、既に「origin」(元)とは別に区別できる点もメリット。
3. font
   * 提案: 泉
   * 理由: 「泉」は「泉水」「泉源」などの形で「泉」「湧き出る水」「源泉」を意味し、“fountain”や“spring”に近いイメージを表しやすい。
   * 学習コスト: 9画。日本語でも「泉」はごく一般的に使われる字で、中国語でも常用字。
4. radik
   * 提案: 本
   * 理由: 漢語としては「根」を直接あててもよいが、「根」は画数が多め(10画)。一方「本」は「根本」「基本」のニュアンスを持ち、日中両言語で「根源的なもの」のイメージに通じる。
   * 学習コスト: 5画。すでに日本語で「本質」「本体」など「根本・基礎」を表す際にも多用される。
5. baz
   * 提案: 基
   * 理由: 「基」は「基地」「基礎」などで「基(礎)・土台・ベース」の意味をもち、"baz-"(基礎的)を表すのに適切。
   * 学習コスト: 11画でやや多めだが、「fundament」とも意味が近く、再利用予定。
6. fundament
   * 提案: 基
   * 理由: 「baz」と同義領域なので、あえて同じ「基」を割り当てることで漢字種類の重複を削減。
   * 学習コスト: すでに「baz」で登場済みのため、新たな漢字は増えない。
7. esenc
   * 提案: 本质 (2文字熟語)
   * 理由: 中国語の「本质」は「物事の本質・実質的核心」を意味し、日本語の「本質」にも対応。1文字ではニュアンスがやや曖昧になるため、あえて2文字熟語を選択。
   * 学習コスト: 「本」は既出。新出の「质」(8画)は「質(実質、性質)」の簡体字で比較的頻度も高く、「essence」の感覚をよく表せる。
8. princip
   * 提案: 原则 (2文字熟語)
   * 理由: 中国語「原则」は「原則」を意味し、日本語「原則」にも直結する最も定番の表現。
   * 学習コスト: 「原」は既出。新出「则」(9画)は中国語で「規則・～ならば」などで頻出の常用字。
9. ek

* 提案: 开
* 理由: 「ek-」は「始動・開始・急に起こる」などの接頭辞的役割。「开」は「開く・開始する」を表す簡潔な字で、4画と少ない。
* 学習コスト: 新規だが4画のみで習得しやすい。以降「start」「komenc」にも流用可。

1. iniciat

* 提案: 发
* 理由: 「発起」「発動」のイメージに近く、中国語の「发(發)」は「(物事を)起こす/始動する」ニュアンスが強い。
* 学習コスト: 5画と少ないが、新出。日本語「発」に相当し、意味連想は容易。

1. komenc

* 提案: 开
* 理由: 「開始する」の意味なので、すでに割り当て済みの「开」を再利用することで漢字種類を増やさずに済む。
* 学習コスト: 既出再利用のため追加負担なし。

1. start

* 提案: 开
* 理由: 「start」も「開始」「スタート」を意味するため、同じく「开」を再利用。
* 学習コスト: 既出のため学習コスト増なし。

1. apertur

* 提案: 孔
* 理由: 「孔」は「穴」「孔」など「開口部・小さな開き」を表すシンプルな字。「開口(开口)」も考えられるが、2文字より1文字の方が単純。
* 学習コスト: 4画。日本語・中国語どちらでも「孔」は「孔子」「気孔」などでおなじみ。

1. inaŭgur

* 提案: 开幕 (2文字熟語)
* 理由: 中国語の「开幕」は「(式典・催しなどを)開幕する」を意味し、「式を行って開始する」ニュアンスに近い。
* 学習コスト: 「开」は既出。「幕」(13画)は新規だが、日中双方で「幕(まく)」として通じやすい。

1. inaŭguraci

* 提案: 开幕式 (3文字熟語)
* 理由: 「開幕式」は「(正式な)オープニング式典」を指す定番表現。「就任式」「落成式」などとも近い意味合い。
* 学習コスト: 「开」「幕」は既出、新たに「式」(6画)が増えるのみ。

1. membr

* 提案: 会员 (2文字熟語)
* 理由: 中国語では「会员」が「会員・メンバー」を意味し、日本語「会員」とも対応。
* 学習コスト: 「会」(6画)「员」(7画)はいずれも新規だが、非常に頻出度が高く学習しやすい。

1. an

* 提案: 员
* 理由: Esperantoの「-an」は「成員・所属者」を表す接尾辞で、中国語の「～员」と対応しやすい。すでに「会员」で使った字を単体で再利用。
* 学習コスト: 既出再利用。

1. er

* 提案: 子
* 理由: 「粒子」「分子」「原子」など、何かの“最小単位・小片”を示す場合に「子」が広く使われる。
* 学習コスト: 3画と非常に簡単。日中共に「子」は多用される字。

1. element

* 提案: 素
* 理由: 中国語では「元素(element)」「要素」などに用いられる「素」を採用。日本語でも「元素」「要素」で「素」が使われるため比較的意味を連想しやすい。
* 学習コスト: 10画。やや多いが、頻度高めの常用字。

1. ingredienc

* 提案: 成分 (2文字熟語)
* 理由: 「成分」は「構成要素」「材料・含有物」の意で、エスペラントの「ingredienco(成分)」に最も近い定番表現。
* 学習コスト: 「成」(6画)「分」(4画)。どちらも常用字であり、日本語にも同形語「成分」が存在。

1. ekip

* 提案: 装备 (2文字熟語)
* 理由: 中国語の「装备(装備する)」「配备」は「equip」に対応する表現として一般的。画数も比較的抑えられ、意味が明確。
* 学習コスト: 「装」(6画)「备」(8画)はいずれも簡体形だが、頻用されるので学習価値は高い。

aparat / 设备 / 「設備」の簡体字であり、装置・機器全般を広く指せる / 「设(設)」「备(備)」はいずれも使用頻度が高く、日本語話者にも類推しやすい

1. rimed / 法 / 「方法」「手段」などを連想しやすい単字 / 筆画は8画で比較的少なく、日本語圏・中国語圏ともに意味をつかみやすい
2. instrument / 器 / 「器具」「楽器」など多くの単語に含まれる常用字 / やや画数(15画)は多いが、道具・器械のイメージに直結しやすい
3. il / 具 / 「工具」「道具」の“具”で、道具を表す接尾辞のイメージに合う / 8画で「器」より画数が少なく、学習コストを下げられる
4. ĉio / 全 / 「すべて」「全体」を表す常用字 / 6画と比較的シンプルで、中国語でも「全部」を連想しやすい
5. tio / 那 / 中国語で「それ/あれ」に相当する指示詞 / 日本語圏でも「那覇(ナハ)」「那由他(ナユタ)」などから「ナ」の音を連想可能
6. tio ĉi## / 这 / 中国語で「これ」を表す指示詞 / 日本語の「これ」に該当し、学習者にも分かりやすい
7. nenio / 无 / 「無(ない)」を示す簡体字 / 4画と画数が少なく、意味を覚えやすい
8. kio / 何 / 「何(なに)」を示す文字で、日本語・中国語双方で意味を把握しやすい / 7画
9. io / 某 / 「何か(ある)」「ある～」を示す常用字 / 中国語でも「某人」「某物」などに使われ、9画だが比較的頻出
10. produkt / 产 / 「生産する」「産物」「製品」などをイメージさせる簡体字 / 6画で「生产(生産)」「产品(製品)」の語幹
11. var / 货 / 「貨物」「商品」「通貨」などを連想 / 8画だが「货物」「钱货」など頻出語に含まれる
12. aĵ / 物 / 「物」「物事」の“もの”を表す常用字 / 8画で日中ともに“具体的なもの”の意味を連想しやすい
13. afer / 事 / 「事(こと)」「出来事」を表す常用字 / 「仕事」「事件」など頻出語彙に含まれ、抽象的・事柄的な意味合いに合致
14. ŝtof / 布 / 「布地」「織物」を端的に示す / 5画と画数が少なく、中国語でも「布料」「帆布」などで頻繁に登場
15. material / 材 / 「材料」「素材」を思わせる基本字 / 7画で「材料」「教材」など日中双方で用例が多い
16. objekt / 物 / “客観的対象＝もの”として捉え、既出「物」を再利用 / 同じ「物」でも上付き文字等で区別可能、学習コストを抑制
17. materi / 质 / 「物質」「質量」等で使われる簡体字 / 8画で日本語の「質(しつ)」とも対応し、科学的ニュアンスを連想しやすい
18. substanc / 质 / 「物質」「実体(实体)」の意味を担うため、上記と同じ「质」を再利用 / 「materi」と近い概念につき区別は後段の表記工夫で対応
19. rekt / 直 / 「まっすぐ」「直接」「直線」などを連想させる基本字 / 8画ながら日常的に用いられ、意味を把握しやすい
20. ort / 直角 / 数学用語「直角」のまま2文字で割当 / 「直」は既出(再利用)、「角」(7画)のみ新規だが、標準的用語ゆえ認知度高い
21. vertikal / 垂直 / 数学・物理分野で「鉛直」「垂直」は「垂直」と表記するのが一般的 / 「直」は再利用、新規の「垂」(8画)のみ追加で済む

eben / 平 /  
選定理由: 「平」には「平らな」「平坦な」「水平な」といった意味があり、「eben」の「平らな、なめらかな」ニュアンスをカバー可能。  
学習コスト: 単一字で画数も少なく、今後「平」を使い回せるため負担が小さい。

* plat / 平 /  
  選定理由: 「plat」も「平たい」の意で、「平」と同じ概念を表せる。  
  学習コスト: すでに出現した「平」を再利用でき、新たな学習コストは発生しない。
* horizont / 地平线 /  
  選定理由: 中国語で「地平线」は「地平＝地面の平らな部分」と「线＝線」が合わさった、水平線・地平線を指す最も一般的な表現。  
  学習コスト: 「平」は既出。「地」「线」は新規だが、どちらも頻出の漢字であり、他の単語でも再利用可能。
* nivel / 水平 /  
  選定理由: 「水平」は「レベル(基準)」「(水面のように)水平である」などの意味で、「nivel(レベル、水準)」に対応。  
  学習コスト: 「平」は既出。「水」が新規だが、日常的にも多用される字。
* horizontal / 水平 /  
  選定理由: 「horizontal = 水平の」を直接表現できるため。「水平な」「水平に」という意味をカバー。  
  学習コスト: 4番と同じ「水平」なので追加学習コストはなし。
* dors / 背 /  
  選定理由: 「背」は身体の「背中」を指す最も基本的な字。  
  学習コスト: 新規だが、常用の単字で汎用性も高い。
* fon / 背景 /  
  選定理由: 「fon」は「背景」。中国語では「背景」が一般的で自然。  
  学習コスト: 「背」は既出。「景」は新規だが「風景」「景色」などで用いられ、比較的汎用性が高い。
* fasad / 正面 /  
  選定理由: 建物などの正面・外観(ファサード)を指す語として、「正面」が分かりやすい。  
  学習コスト: 「正」「面」はどちらも常用。後述の「面」再利用も想定。
* front / 前面 /  
  選定理由: 「front」は「前方・正面」などを含むため、汎用度の高い「前面」を採用。  
  学習コスト: 「面」は既出。「前」は新規だが、一般語彙なので学習メリットは大。
* facet / 切面 /  
  選定理由: 宝石や幾何学の「切子面」「ファセット」は中国語で「切面」が一般的。  
  学習コスト: 「切」は新規だが、よく使われる字。「面」は既出。
* surfac / 表面 /  
  選定理由: 「表面」は「surfac(表面)」に最適な直訳。  
  学習コスト: 「表」は新規。「面」は既出。「表」は「表情」「发表」など多方面で使われる。
* fac / 面 /  
  選定理由: 幾何学的な「(平)面」「面」という意味に最適。「fac」は英語の"face"だが理数系用語としては「面」。  
  学習コスト: 「面」は既出。追加コストなし。
* fizionomi / 面相 /  
  選定理由: 「面相」は「人の顔立ち・相貌・人相」を指す表現で、「fizionomi(人相)」に対応。  
  学習コスト: 「面」は既出。「相」は新規だが、「相貌」「相同」など他でも登場が期待される。
* profil / 侧面 /  
  選定理由: 「profil」は横顔・側面を意味するため、中国語では「侧面」が最も自然。  
  学習コスト: 「面」は既出。「侧」は新規だが、常用字。
* trajt / 相貌 /  
  選定理由: 「目鼻立ち」「容貌」「特徴」といったニュアンスで、顔立ちを表す「相貌」が適切。  
  学習コスト: 「相」は既出。「貌」は新規だが、「外貌」など派生語もありうる。
* vizaĝ / 脸 /  
  選定理由: 現代中国語で「顔」を最も直接的に表すのは「脸」。  
  学習コスト: 新規だが日常単語として非常に頻度が高い。
* mien / 表情 /  
  選定理由: 「mien(顔つき、様子、表情)」には「表情」が自然。  
  学習コスト: 「表」は既出。「情」は新規だが、「爱情」「事情」など多くの熟語があるため再利用性は高い。
* du / 二 /  
  選定理由: 数詞の「二」をそのまま漢字で表現。  
  学習コスト: 新規(2画)だが最頻使用の数字。
* ambaŭ / 两 /  
  選定理由: 「両方の」を指す場合は「两」が簡潔かつ頻用。  
  学習コスト: 新規だが、これも常用で「两个人」「两边」など派生が多い。
* ambaŭ## / 两 /  
  選定理由: 意味は上と同じく「両方」。記号「##」が付いていても、対応する概念は「两」そのもの。  
  学習コスト: 既に登場済みのため追加なし。
* par / 双 /  
  選定理由: 「一対」「一双」を表す常用字に「双」。  
  学習コスト: 新規だが(4画)と比較的少画数で、「双重」「双手」「双眼」など頻出。
* dual / 二重 /  
  選定理由: 「二重」「二重性」などと同じく「二重」は「ダブル」「二層」の意を表す。すでに「二」は学習済み。  
  学習コスト: 「重」が新規だが、常用字で「重复(重複)」「重要」「体重」など汎用性が高い。

ĝemel / 双 /

* + 選定理由: 「双」は日中両言語で「二つ」「ペア」の意味が広く通じるため、「双子（ツイン）」の連想がしやすい。
  + 学習コスト: 画数が少なく、日本人・中国人双方に馴染みがあるシンプルな漢字。

1. akcesor / 副 /
   * 選定理由: 「副」は「副次的」「副～(補助的役割)」のニュアンスを持ち、accessory/secondary に近い。
   * 学習コスト: すでに日本語・中国語で「副◯◯」という形で広く使われており、画数も多すぎない。
2. sekundant / 副 /
   * 選定理由: 決闘の「立会人」「代理人」のように“補助的・サブ的に付く人”という意味合いから「副」を再利用。
   * 学習コスト: 「akcesor」と同じ文字を再利用することで、新たな漢字導入を避けられる。
3. humor / 心情 /
   * 選定理由: 「心情」は「気分」「気持ち」の意味で、中日両語で比較的素直に“ムード”を連想できる。
   * 学習コスト: 「心」は後述の「心(kor)」と共通、「情」は後述の「色情(erotik)」などでも再利用可。
4. temperament / 气质 /
   * 選定理由: 中国語では「気質」の意味に相当し、日本語でも「気質（きしつ）」と書くため対応がわかりやすい。
   * 学習コスト: 「气(気)」は画数が少なく、「质(質)」も比較的常用。日本語話者には簡体字の形がやや違うが、連想は容易。
5. cerb / 脑 /
   * 選定理由: 「脑」は簡体字で「脳」。頭脳・ブレインの意味が直感的。
   * 学習コスト: 画数は8画とやや多めだが、対応する日本語の「脳」と近いため覚えやすい。
6. kor / 心 /
   * 選定理由: 「心」は最も直接的に「心・ハート」を表す。
   * 学習コスト: 画数が少なく、非常に基本的な漢字なので学習負荷は低い。
7. sin / 怀 /
   * 選定理由: 「怀」は簡体字で、日本語の「懐（ふところ）」に対応する。原義どおり「胸に抱く」「内に抱える」といったニュアンス。
   * 学習コスト: 「心」と同様、“心・胸”まわりのイメージにつながるので関連付けやすい。
8. erotik / 色情 /
   * 選定理由: 中国語でも日本語でも「色情」は「エロ・性的興味」を指す表現として分かりやすい。
   * 学習コスト: すでに(4)で「情」が登場しているので、新出は「色」1文字のみ。
9. seks / 性 /

* 選定理由: 「性」は「性(別)」「セクシュアル」などを表し、中国語・日本語双方で非常に基礎的。
* 学習コスト: 画数が少なく、両言語の初学者にも馴染みやすい。

1. hermafrodit / 雌雄同体 /

* 選定理由: 中日ともに「雌雄同体」が「雌雄両方の性を併せ持つ生物(=hermaphrodite)」の定訳。
* 学習コスト: 4文字だが専門用語ゆえ、単独1文字より定着しやすい。今後「体」は再利用。

1. ge / 男女 /

* 選定理由: 「男女」は「両性を包括する」という意味が直感的に伝わりやすい。
* 学習コスト: 「男」「女」ともに非常に基本的な漢字で、日本語・中国語いずれも認知度が高い。

1. amfibi / 两栖 /

* 選定理由: 中国語で「两栖动物」は両生類を指すのが一般的。「两栖」だけでも「両生・両棲」の意を示す。
* 学習コスト: 「两」は「二」を示す常用字、「栖」はやや画数が多いが、熟語としてはコンパクト。

1. brut / 家畜 /

* 選定理由: 「家畜」は日本語・中国語どちらでも「飼われる動物(家畜)」の意味で通じる標準的表現。
* 学習コスト: 2文字だが「家」は日常語で、学習コストはそこまで高くない。

1. best / 动物 /

* 選定理由: Esperanto「best」は広義で「動物」を指す。中国語の「动物(動物)」は日本語でも「動物」として連想しやすい。
* 学習コスト: 「动(動)」「物」は頻出漢字。16番とも重複利用可。

1. animal / 动物 /

* 選定理由: 上記15番と同義的。「best」と「animal」を区別せず同じ「动物」として割り当て、文字数削減。
* 学習コスト: 新たな漢字を増やさずに済む。

1. korp / 体 /

* 選定理由: 「体」は「身体」「体躯」を端的に表す常用漢字。
* 学習コスト: 画数7で比較的簡単。「雌雄同体」(11番)でも既出。

1. organ / 器官 /

* 選定理由: 「器官」は生物学の「organ」を表す最も標準的な訳語。
* 学習コスト: 2文字だが、ともに日中両言語で馴染みのある常用字。

1. organism / 生物 /

* 選定理由: 「生物」は「有機体」の意味を広くカバーし、日本語・中国語とも頻出語彙。
* 学習コスト: 「物」は15・16番で既出。「生」も初級レベルで学びやすい。

1. ripoz / 休息 /

* 選定理由: 「休息」は「休む・休息する」を日常的に表す標準語。
* 学習コスト: 「休」は画数が少なく、「息」も比較的基本的で、一度覚えれば使い回しやすい。

1. feri / 假日 /

* 選定理由: 「假日」は中国語で「休日」「祝日」などを指し、日常的。日本語話者も「休みの日」の連想は可能。
* 学習コスト: 「假」はやや画数が多いものの、「日」は最も基本的な文字の一つ。

1. pensi / 退休金 /

* 選定理由: リストでは「年金・pension」の意味として提示されているため、中国で一般的な「退休金」（退職後の給付）を採用。
* 学習コスト: 「退」(9画)はやや多めだが、「休」は20番で再利用済み。「金」も基本漢字。

emerit

* + 提案: 退
  + 選定理由:
    - 本来は「退休」が一般的な「退職」の意味を持つ熟語ですが、学習コスト削減のため単一字「退」で代用しました。
    - 「退」には「引退する」「後ろへ下がる」といった意味合いがあり、定年・退職にも通じるニュアンスが含まれています。
  + 学習コストに関する考察:
    - 一文字なので画数は9画とそこそこですが、「休」を併用せずに済むため、総文字種を減らすメリットがあります。

1. komandit
   * 提案: 合伙
   * 選定理由:
     + 中国語で「合伙」は「パートナーを組む、合資する」のニュアンスがあり、「合資会社（有限合伙）」にも近い表現です。
     + 「合」には「合わせる、共同」のイメージがあり、日本語でも連想しやすい文字です。
   * 学習コストに関する考察:
     + 「合」は今後も「合同」などで再利用可能。「伙」はやや馴染みが薄いかもしれませんが、合資・パートナーシップを指す際に使われる常用字です。
2. kompani
   * 提案: 公司
   * 選定理由:
     + 中国語で「会社」は「公司」が標準的です。日本語話者も「公司」を見れば「会社」を連想しやすいでしょう。
   * 学習コストに関する考察:
     + 「公」「司」ともに比較的画数が少なく、今後他の単語（例: 「公約」など）にも転用しやすい文字です。
3. korporaci
   * 提案: 法人
   * 選定理由:
     + 中国語で「法人」は「法的に認められた社団法人・企業体」を指す語です。日本語の「法人」とほぼ同義。
     + 「社团」なども候補ですが、本提案では「法人」のほうが単語数を抑え、要素が明確になります。
   * 学習コストに関する考察:
     + 「法」は画数がやや多め(8画)ですが、広範に使われる基本漢字。「人」は2画で非常に汎用性が高い文字です。
4. sindikat
   * 提案: 工会
   * 選定理由:
     + 中国語で「工会」は「労働組合」に相当します。シンプルで分かりやすい表記です。
   * 学習コストに関する考察:
     + 「工」はわずか3画、「会」は再利用が多い(以下にも頻出)ため、学習コストをあまり増やさずに済みます。
5. societ
   * 提案: 会
   * 選定理由:
     + 原義は「社会的な集まり・会合・団体」を示す語根ですが、ここでは単純化して「会」と割り当てました。
     + 中国語で「协会」「工会」などの一部として頻出するほか、日本語でも「○○会」「学会」などの形で意味を連想しやすい文字です。
   * 学習コストに関する考察:
     + すでに他語根でも登場する「会」を単独で使うことで、追加の文字増加を回避。
6. asoci
   * 提案: 协会
   * 選定理由:
     + 中国語で「协会」は「協会・団体」の意味を表す標準的な二字熟語です。
     + 日本語「協会」と対応し、意味が推測しやすい。
   * 学習コストに関する考察:
     + 「协」は新出ですが、画数は9画程度と許容範囲。後続の「会」は既出の使い回し。
7. rendevu
   * 提案: 约会
   * 選定理由:
     + 中国語で「约会」は「会う約束／デート／アポイント」を意味し、「会合の約束」とほぼ一致します。
   * 学習コストに関する考察:
     + 「约」は新出ですが、今後「条约」「公约」などにも使われる字であり汎用性が高いです。「会」は既出。
8. kontrakt
   * 提案: 合同
   * 選定理由:
     + 中国語で「合同」は「契約」の意味を持つ最も一般的な単語の一つ。
     + 「契约」も候補ですが、「合」は既出で使い回しできるため、総文字数削減に有利。
   * 学習コストに関する考察:
     + 「合」は再利用、「同」は新出だが5画と少なめ。
9. traktat
   * 提案: 条约
   * 選定理由:
     + 「条约」は「条約」「協定」などの意味で使われる中国語。日本語でも「条約」という単語を連想しやすい。
   * 学習コストに関する考察:
     + 「条」は新出ですが、「约」は再利用。2文字とも比較的基本的な漢字です。
10. konvenci
    * 提案: 公约
    * 選定理由:
      + 「国际公约(国際条約)」「公约」など、国際的合意や慣習的協定を指す際に広く用いられます。「公」は「公共」の意味合いが強く、日本語でも類推しやすい。
    * 学習コストに関する考察:
      + 「公」は既に「公司」で登場済み。「约」も再利用なので追加の学習負担はゼロ。
11. verk
    * 提案: 作
    * 選定理由:
      + 原義は「著作する」「創作する」。中国語で「创作」「作品」の「作」で表現可能。単字で「作る」や「書く」のニュアンスを含みます。
    * 学習コストに関する考察:
      + 単一字で表記でき、画数(7画)も比較的少なく、他語「作者」などにも転用。
12. aŭtor
    * 提案: 作者
    * 選定理由:
      + 中国語で「作者」は「著者・作者」の意味で最も直接的。日本語の「作者」と完全に一致するので分かりやすい。
    * 学習コストに関する考察:
      + 「作」は前項で既出。新出は「者」(8画)のみで、十分許容範囲です。
13. sekretari
    * 提案: 秘书
    * 選定理由:
      + 中国語の「秘书」は一般的な「秘書」を指し、日本語「書記」と異なり、現代オフィス文脈での「秘書」に相当します。
      + 「书记」も候補ですが、共産党の役職など別の連想を起こしやすいので、より広く「秘書」を意味する「秘书」を採用。
    * 学習コストに関する考察:
      + 「秘」は10画とやや多めですが、使用頻度は比較的高い。「书」は4画で非常に基本的な字です。
14. redakci
    * 提案: 编辑部
    * 選定理由:
      + 中国語で「编辑部」は「編集部」「編集室」に相当する最も一般的な呼称です。
      + 「编辑」だけでは「編集する行為・編集者」を指すことも多いので、「部」を付けて「部署」のニュアンスを出します。
    * 学習コストに関する考察:
      + 新たに「编」「辑」「部」の3文字が増えますが、いずれも常用度が高く、編集関連では不可避な語彙です。
15. redaktor
    * 提案: 编辑
    * 選定理由:
      + 「編集者」に相当する中国語として、シンプルに「编辑」。すでに「编辑部」の要素を含んでいるため意味の整合性も高い。
    * 学習コストに関する考察:
      + 「编」「辑」は直前に登場済みで、追加の文字は不要。
16. tez
    * 提案: 论文
    * 選定理由:
      + 中国語で「论文」は「学術論文」「論説」「論文全般」を指し、「命題」「論題」よりも広く論文的要素を含むため便利。
    * 学習コストに関する考察:
      + 新出文字「论」「文」はいずれも頻用字であり、他の学術関連語にも転用可能。
17. misi
    * 提案: 使命
    * 選定理由:
      + 中国語でも日本語でも「使命」は「ミッション」「任務」「果たすべき役割」に近い意。非常に対応が良い。
    * 学習コストに関する考察:
      + 新出「使」「命」2文字とも常用度が高い。ただし画数はやや多めでも、意味の分かりやすさを優先。
18. adres
    * 提案: 地址
    * 選定理由:
      + 中国語で「住所・アドレス」は「地址」が最も標準的な表現。日本語でも「地(ち)」「址(し)」の連想はしやすい。
    * 学習コストに関する考察:
      + 「地」「址」はともに新出ですが、いずれもよく使われるため汎用性は比較的高い。
19. leter
    * 提案: 信
    * 選定理由:
      + 中国語で「信」は「手紙」「書簡」の意もあるため、単独字で対応可能。「写信(手紙を書く)」など用法も豊富。
    * 学習コストに関する考察:
      + 新出文字だが1字のみ。9画でまずまず覚えやすい。
20. poŝt
    * 提案: 邮
    * 選定理由:
      + 「邮」は「郵便」「郵送」といった意味の接頭字的役割。単独ではやや省略形ですが、「邮局」「邮政」「邮包」等で広く使われます。
      + 2文字熟語にするなら「邮件」「邮政」などが一般的。ここではあえて1文字で学習文字数を抑えました。
    * 学習コストに関する考察:
      + 新たに「邮」だけ追加。7画と比較的少なめです。
21. film
    * 提案: 胶片
    * 選定理由:
      + 中国語で「胶片」は撮影フィルムを指す最も代表的な単語。
      + 「影片」は主に映像作品の「映画」を指すので、物理的なフィルムには「胶片」が適切。
    * 学習コストに関する考察:
      + 新出の「胶(10画)」「片(4画)」は合わせて2文字。ただし「片」は「写真」「片断(断片)」など多用されるため、汎用性は高めです。

kin / 电影 /  
選定理由:

* + 中国語で「映画」を意味する最も一般的な語が「电影」。
  + 「电(電)」は日本語でも「電気」「電車」などの熟語を通じて馴染みがあり、「影」も「影響」「人影」などで用いられるため、日中双方ともに連想しやすい。  
    学習コストに関する考察:
  + 「电」「影」は今後ほかの語根(写真関連や影・映像関連)でも流用可能な漢字であり、汎用性が高い。

1. fot / 摄影 /  
   選定理由:
   * 「fot」は「写真・写真を撮る(撮影する)」という意味の根であり、中国語では「摄影」が「写真撮影」や「撮影活動」全般を指すうえで最も広く使われる。
   * たとえば「拍照」「照片」などもあるが、単一の語で「撮る行為」と「写真」の概念を幅広くカバーできる「摄影」を優先した。  
     学習コストに関する考察:
   * すでに「影」は「电影」で使用しており、ここで「摄」を追加するのみ。今後「摄」は「摄像」「摄取」「录摄」など、さらに別の語にも流用可能。
2. fotografi / 摄影 /  
   選定理由:
   * 「fotografi」は「写真術」「写真撮影の技術」などを意味するが、中国語では「摄影」一語が“写真術・撮影全般”を広くカバーするため、同じく「摄影」を割り当てる。  
     学習コストに関する考察:
   * (2)の「fot」と同一表記にし、上付き文字などで区別予定。追加の新規漢字は不要。
3. fotograf / 摄影 /  
   選定理由:
   * 「fotograf」は「(を)撮影する」動詞や「写真(撮影)の、写真(撮影)に関する」形容詞としても使われるが、これも広く「摄影」でカバー可能。
   * 実際の中国語では「摄影(动词)」「摄影的(形容词)」といった具合に変化しうるが、根本は同一なのでまとめた。  
     学習コストに関する考察:
   * 同様に新規漢字の追加はない。
4. fotograf## / 摄影师 /  
   選定理由:
   * こちらは「カメラマン・写真家」という職業や人を指すため、実際の中国語で広く定着している「摄影师」を採用。
   * 「师」は「老师」「技师」「教师」などで用いられ、「～を職業とする専門家」を表す最も基本的な字の一つ。  
     学習コストに関する考察:
   * 「师」(師)は画数も比較的少なく、日中双方で「師」というイメージがわきやすいため導入コストは低め。
5. rekord / 记录 /  
   選定理由:
   * 中国語で「記録」を意味する最も基本的な語が「记录」(繁体字では「記錄」)。
   * 「記録する」行為も「记录」に対応するため、名詞・動詞いずれの含みもある程度カバーできる。  
     学習コストに関する考察:
   * 新たに「记」「录」を導入するが、いずれも「记者(記者)」「录音(録音)」「录影(録画)」など幅広く応用可能。
6. monument / 纪念碑 /  
   選定理由:
   * 中国語で「記念碑」は「纪念碑」が最も一般的。
   * 「纪念」が「記念する/思い起こす」、「碑」が「石碑・碑文」を意味。  
     学習コストに関する考察:
   * ここで「纪」「念」「碑」を新規導入。ただし「念」は「念頭」「信念」「怀念」など非常に頻繁に使われる字であり、「碑」も後述の「碑文」で再利用する。
7. epigraf / 碑文 /  
   選定理由:
   * 「epigraf」は「碑銘・碑文」を指し、中国語では「碑文(石碑に刻まれた文章)」が自然。
   * 「铭(銘)」を使う手もあるが、画数・使用頻度を考慮し「文」の方が汎用性が高く、日中双方で意味を取りやすい。  
     学習コストに関する考察:
   * 「文」は最も基本的な字の一つ。すでに出てきた「碑」と組み合わせるだけで済むため、学習コストは低い。